# 挨拶と四季の心

学校便り第５号
令和８年１０月２８日
福井市灯明寺中学校

猛暑がようやく落ち着き、朝晩は心地よい秋風が吹く季節になりました。10 月は行事も多く、学校生活が充実する時期でしたね。学校外の方との関わりが多かった今、皆さんに**「一生の財産になる小さな良い習慣」**について考えてほしいと思います。日々の何気ない行動の積み重ねが、皆さん自身の品格を作り、周りの人との関係を心地よいものに変えていきます。今日から意識できる５つの習慣を紹介します。

**【1．さわやかな挨拶】**
挨拶は「あなたの存在を大切に思っています」というサインです。照れくさいときは、相手の目を見て小さく会釈をするだけでも構いません。自分から発するさわやかな挨拶は、相手だけでなく自分自身の心も明るくしてくれます。

**【2．さりげなく整理整頓】**
自分の机のまわりやロッカーなど、身の回りのスペースを「さりげなく」整えてみましょう。身の回りの乱れは、心の乱れにつながると言われます。必要なものがすぐに見つかる環境を作ることは、勉強や部活動の効率アップにも直結します。

**【3．靴を並べる】**
「脚下照顧（きゃっかしょうこ）」という言葉があります。自分の足元をよく見つめなさい、という意味です。玄関や昇降口で靴を脱ぐとき、次の人が使いやすいように、そして自分が次に履きやすいように揃える。この一瞬のひと手間が、心を落ち着かせてくれます。

**【4．ゴミを拾う】**
落ちているゴミに気づいても、「自分が捨てたわけじゃないし」と通り過ぎてしまうことはありませんか？そこで一歩踏み出してゴミを拾える人は、周囲への思いやりを行動に移せる人です。誰も見ていなくても、あなたのその善い行動は、あなた自身の自信になります。

**【5．道を譲る】**
登下校のとき、狭い道で地域の方や小さなお子さんとすれ違うことはありませんか？ ほんの少し立ち止まって「どうぞ」と道を譲る。その心の余裕が素敵です。皆さんの譲り合いの精神が、この街を優しく安全な場所に変えていきます。

習慣を変えることは、とても難しいということは承知の上です。ただ、「あきらめ」てしまったら成長はしません。「夢」をもって、失敗を恐れず、計画的にチャレンジをしませんか。大いに期待しております。
さわやかな秋、小さな「良い習慣」で自分を磨こうではありませんか。

**＜保護者の皆様へ＞**
日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
**「失敗を恐れず、チャレンジをする。」「自分と仲間を大切にする」「感謝の心を持つ」**
灯明寺中の生徒全員が、この３つを意識して行動してくれる様になってくれることが、校長の願いです。
挨拶や整理整頓、靴を揃えるといった行動は、一朝一夕には身につきません。本校教員一同、「良い習慣の定着」を目指して、生徒たちへ声かけを行っていきます。ご家庭でも、お子様が良い行動をした際にはぜひ具体的に褒めていただき、共により良い習慣を育んでいければ幸いです。

## 秋季新人大会激励会・引き継ぎ式

９月２４日（木）、秋季新人大会激励会と部活動の引き継ぎ式を行いました。はじめに、３年生の前部長から２年生の新部長へ部旗が手渡され、激励の言葉とともに部活動の伝統や思いが引き継がれました。新たに中心となる２年生にとって、リーダーとしての自覚を高める節目の時間となりました。
続いて、大会に出場する各部が対戦相手や大会日程を紹介し、それぞれが大会に向けた決意を力強く発表しました。最後には生徒代表から激励の言葉が送られ、校歌を斉唱しました。全校からの激励が大会への奮闘につながりました。







## ２学期生徒会役員立会演説会・選挙

１０月５日（月）、２学期生徒会役員選挙の立会演説会と投票を行いました。今回の選挙では、生徒会長、２年副会長、１年副会長を選出しました。

立会演説会では、立候補者がこれからの学校生活をどのようによりよくしていきたいか、自分の考えや決意を全校生徒に向けて堂々と発表しました。責任者による応援演説にも、候補者への信頼や期待が込められていました。その後、全校生徒が投票用紙に記入し、投票箱へ一票を投じました。

学校の代表を自分たちの一票で選ぶことを通して、生徒会活動や学校づくりについて一人ひとりが考える大切な機会となりました。



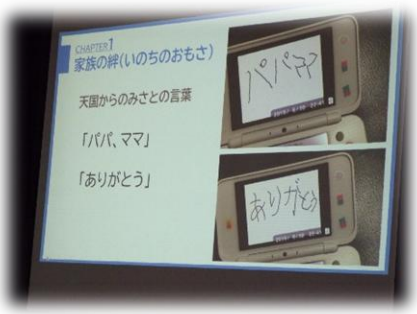
## PTA 教育講演会

１０月７日（水）、全校生徒と保護者を対象に、PTA 教育講演会を開催しました。講師に吉村和真さんをお迎えし、「命をつなぐ、夢をつなぐ ～当たり前の今日を大切に、自分らしい一歩を踏み出す～」と題してお話しいただきました。吉村さんは、９歳の娘さんを急性リンパ性白血病で亡くされた経験をもとに、命は決して当たり前ではないこと、家族や周囲の人への感謝、そして夢をもちながら前を向いて生きることの大切さを語られました。

講演では、娘さんとの思い出や、現在取り組んでいるレモネードスタンド活動についても紹介され、生徒たちは一つ一つの言葉を真剣に受け止めていました。講演後には代表生徒がお礼の言葉を伝え、自分の心に残ったことや考えたことを振り返りました。

「今、この場にいられること」「家族や仲間と過ごせること」の尊さに改めて気づき、一瞬一瞬を大切にしながら、自分らしい一歩を踏み出していくことについて深く考える貴重な機会となりました。








## ２学期　始業式・認証式

１０月１４日（水）、２学期生徒会役員認証式を行いました。生徒会執行部、各委員長、級長、絆プロジェクトリーダーが呼名され、それぞれの代表者に認証状が授与されました。

認証された生徒たちは、これから学校や学級、各活動の中心となって仲間をまとめていく立場です。式では校長先生から激励の言葉があり、その後、生徒会長が代表して今後の活動に向けた決意を述べました。

一人ひとりが自分の役割を自覚し、周囲と協力しながら、リーダーを助け、よりよい学校づくりに力を発揮してくれることを期待しています。





## 伝達表彰を行いました

１学期の終業式と２学期の始業式にあわせて、夏休み中の大会やコンクールなどで優秀な成績を収めた生徒への伝達表彰を行いました。運動部の大会や文化的な活動など、さまざまな分野で日頃の努力の成果を発揮し、多くの生徒が表彰を受けました。

中でも、福井新聞社主催「第 31 回県中学生郷土新聞コンクール」では、２年生の前田さんが、福井市森田地区の新駅設置計画をテーマにまとめた「新駅新聞」で知事賞を受賞しました。地域の課題に目を向け、自ら調べ、考えを深めた成果が高く評価されました。

これからも一人ひとりが、それぞれの得意な分野で挑戦を続け、力を伸ばしていってほしいと思います。

